

## 町民活動団体紹介 17

### より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

#### 団体名 ほっと♡ステーション

##### ◆活動内容

親の帰りが遅い子どもや1人暮らしの人たちが、みんなで食べられる機会を設けたいという目的で、地域食堂「ほっと♡ステーション」を立ち上げました。

原則月1回ですが、2回の月もあります。メニューは、カレーライスとサラダ等です。午後5時から7時まで、30食前後用意しています。

##### ◆活動日 毎月第3金曜日

##### ◆会員数 10名

##### ◆活動場所 ボランティア支援センター（きらり館）

##### ◆ひとこと

地域の人たちから食材の提供があり、心から感謝するとともに、嬉しく思っています。地域の人たちが顔見知りになり、何かの時に支え合えることにつながることを期待したいと思います。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

みなさんも楽しく、元気に町民活動に取り組んでみませんか。  
ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

- 当団体のことにつきましては…問ほっと♡ステーション代表 小関 良枝 ☎(55)0647
- 町民活動等につきましては…問ボランティア支援センターきらり館 ☎(23)1231

## 広報連絡委員レポート№.412

こんにちは、どう過ごす？



広報連絡委員  
川元 由美子

自分が生きてきた中で遭遇したこともないようなウイルス感染症拡大、新型コロナウイルスの流行が都市部だけでなく身近に迫ってきて、町の行事や地域のお祭り、多くの人の集まる集会の開催にも影響が出ています。そして新しい生活様式が唱えられています。

郷里が県外にある者にとって一番つらいのは、高齢になつた親に会い、先祖の墓参りなどの機会である「お盆」に帰れないこと。万が一、自分がウイルスを運ぶような事態になつてはいけないという思いがあつて躊躇します。今も「東京都は本日230〜240人の感染者が出る予定」とニュースで報じています。

そんな今感じるのは、感染症にかからないよう衛生面の徹底とソーシャルディスタンス、そして精神的に落ち込まないような自己防衛策の必要性です。

私はメンタルヘルスのために時間があると町内の平地林や水田を見ながら散歩するようにしています。



▲目標10,000歩



▲平地林に咲くコリ

す。季節の花や、稲の生育（人様の田んぼですが）、用水路を流れる水の中に見える魚などを見ながら歩く心晴れやかになります。医療従事者はじめ多くの方々が最前線で頑張ってくださいている中、私たち一般市民は自身にできることをして、深刻な人類の危機に臨まなければならないように思えます。